

厚生労働大臣

殿

鳥取大学医学部附属病院  
病院長 豊島良太

## 鳥取大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

## 記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	39	人
--------	----	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

## 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	301人	34.7人	335.7人	看護業務補助	61人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	16人	1.8人	17.8人	理学療法士	11人	臨床検査技師	35人
薬剤師	30人	0人	30.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	2人	鍼灸その他	0人
助産師	29人	0.8人	29.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	522人	20.8人	542.8人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	2人	0人	2.0人	栄養士	0人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	3人	0人	3.0人	歯科技工士	2人	事務職員	145人
管理栄養士	4人	0人	4.0人	診療放射線技師	25人	その他の職員	13人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

## 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

## 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	559.8人	9.9人	569.7人
1日当たり平均外来患者数	1,191.2人	53.6人	1,244.8人
1日当たり平均調剤数	650.0剤		

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
インプラント義歯	有・無	人
顎顔面補綴	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	1人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31磷-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	0人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	16 人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	11 人
・多発性硬化症	23 人	・ウェグナー肉芽腫症	6 人
・重症筋無力症	46 人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	35 人
・全身性エリテマトーデス	79 人	・多系統萎縮症	13 人
・スモン	2 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0 人
・再生不良性貧血	20 人	・膿疱性乾癥	0 人
・サルコイドーシス	43 人	・広範脊柱管狭窄症	5 人
・筋萎縮性側索硬化症	19 人	・原発性胆汁性肝硬変	17 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	64 人	・重症急性胰炎	4 人
・特発性血小板減少性紫斑病	25 人	・特発性大腿骨頭壊死症	11 人
・結節性動脈周囲炎	16 人	・混合性結合組織病	20 人
・潰瘍性大腸炎	24 人	・原発性免疫不全症候群	1 人
・大動脈炎症候群	10 人	・特発性間質性肺炎	14 人
・ビュルガー病	5 人	・網膜色素変性症	11 人
・天疱瘡	5 人	・プリオン病	1 人
・脊髄小脳変性症	18 人	・原発性肺高血圧症	2 人
・クローン病	16 人	・神経線維腫症	12 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・悪性関節リウマチ	1 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2 人
・パーキンソン病関連疾患	145 人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	4 人
・アミロイドーシス	2 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1 人
・後縦靭帯骨化症	29 人	・副腎白質ジストロフィー	3 人
・ハンチントン病	2 人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	毎月 2 回開催	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 38 例	剖検率 9.6 %

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1. 研究費補助金等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部局(分野名等)	金額(千円)	補助元又委託先
血清中mRNAを用いた新規高感度病態診断法のプライマリーケアへの導入	三浦 典正	薬物治療学	1,900	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
子宮内膜症の増殖・進展機構の解明と新たな分子標的治療の開発	寺川 直樹	生殖機能医学	1,600	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
メタボリック症候群の肥満に対する個別患者教育システム創設における分子疫学的研究	小谷 和彦	健康政策医学	1,000	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
病巣遠隔部の二次変性:3テスラMRIとSPECTによる神経細胞密度の定量的解析	小川 敏英	医用放射線学	1,300	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
C型慢性肝炎での肝線維化進行と宿主の機能的遺伝子多型との関連	村脇 義和	機能病態内科学	1,000	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
肺癌検診における新規腫瘍マーカー・分子マーカーの有用性研究	清水 英治	分子制御内科学	1,300	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
背外側前頭前皮質抑制性神経系に対するドーパミンの調節効果	兼子 幸一	精神行動医学	1,400	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
IGF-I不応症の新展開:変異IGF受容体遺伝子の機能解析と表現型の検討	神崎 晋	周産期・小児医学	1,300	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
血中に存在する微量な癌細胞が担癌生体におよぼす影響	池口 正英	病態制御外科学	700	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
関節リウマチに合併する骨粗鬆症の予防・治療法の確立	豊島 良太	運動器医学	500	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
培養神経細胞とアストロサイトによる家族性片頭痛の疾患モデル構築と分子機構の解明	竹島 多賀夫	脳神経内科	1,500	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
Aβ新規関連タンパクβ-Alcのアルツハイマー病診断マーカーとしての臨床応用	浦上 克哉	生体制御学	1,000	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
造血器腫瘍におけるr選択とK選択に関する研究	本倉 徹	臨床検査医学	900	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
小児期発症メタボリック症候群の成因分析:遺伝性肥満をモデルとして	花木 啓一	母性・小児家族看護学	1,200	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
ハンチントン病の分子病態におけるP62(A170)の関与と治療への応用	中曾 一裕	脳神経内科	4,600	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
乳房外パジェット病における腫瘍の伸展および病勢・治療効果の早期把握に関する研究	吉田 雄一	皮膚病態学	1,000	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
加齢黄斑変性マウスモデルを用いた病態メカニズムの解明と治療への応用	馬場 高志	視覚病態学	1,000	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
アセチルコリンは咽喉頭における求心性の神経伝達物質か?	河本 勝之	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	500	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
熱ショック蛋白の細胞保護効果に着目した急性臓器機能障害の予防に関する研究	南 ゆかり	高次集中治療部	1,300	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金
PICK1遺伝子と統合失調症との関連	前田 和久	精神科神経科	1,000	(補)日本学術振興会 委 科学研究費補助金

小計20

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1. 研究費補助金等の実績

生物学的特性に基づくE1A遺伝子導入を用いた上皮性卵巣癌抗癌剤耐性克服の試み	板持 広明	産科婦人科	700	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
声門部流速変動の解析に基づいた音声発現機構の解明	片岡 英幸	耳鼻咽喉科	1,900	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
急性肺傷害に対するリン脂質投与の予防効果に関する研究:カルジオリピンを中心	持田 晋輔	麻酔科	2,100	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
ケモカイン抑制による角膜移植後拒絶反応抑制法の開発	石倉 涼子	眼科	1,400	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
集中治療患者に対するEMS(電気的筋肉刺激)の筋肉保持効果	坂本 成司	麻酔科	3,300	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
脳組織におけるジストログリカンの糖鎖付加の細胞群による差異と異常の機能的意義	斎藤 義朗	脳神経小児科	2,700	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
消化性潰瘍患者における背景胃粘膜とDNAメチル化との関連についての検討	原田 賢一	第二内科	1,000	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
気道リモデリングにおける間葉系細胞の役割について一不死化間葉系細胞の確立	山崎 章	第三内科	1,300	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
前庭障害者における体循環および自律神経への影響についての検討	中村 陽祐	耳鼻咽喉科	700	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
正常骨髄幹細胞が癌の転移形成に果たす役割に関する基礎研究	土井 理恵子	歯科口腔外科	500	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
家族性筋萎縮性側索硬化症モデルマウスに対する神經幹細胞治療	渡邊 保裕	脳神経内科	900	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
発達期ヒト脳におけるDセリンとNMDA受容体の変化とんかん原性獲得に関する研究	杉浦 千登勢	脳神経小児科	900	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
耳下腺のMRマイクロイメージング:3TMRIと表面コイルを用いた検討	藤井 進也	材料部	500	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
胎児母体境界における細菌侵入防御メカニズムの解明	光成 匡博	総合周産期母子医療センター	1,000	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
ドノペミン神經幹細胞移植におけるケトン体の神經保護効果の応用	今村 恵子	脳神経内科	1,000	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
片頭痛の中権神經調節機構に関する検討	村上 丈伸	脳神経内科	300	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
細胞周期に基づくタキサン化合物耐性機序の解明と耐性克服の試み	佐藤 慎也	総合周産期母子医療センター	1,300	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
熱ショック蛋白による成熟チャンネル増加機序の解明とその慢性心房細動治療への応用	久留 一郎	再生医療学	1,500	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
コンディショナルノックアウトによる間葉系幹細胞から肝細胞への分化可塑性の解析	汐田 剛史	遺伝子医療学	1,900	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金

合計39

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、該当医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatology 45: 297-306, 2007	FibroIndex, a practical index for predicting significant fibrosis in patients with chronic hepatitis C	Koda M, et al.	第二内科
Oncol Rep 17: 1195-1200, 2007	The growth inhibition of liver cancer cells by paclitaxel and the involvement of extracellular signal-regulated kinase and apoptosis	Okano J, et al.	第二内科
Abdom Imaging 32: 387-392, 2007	Sonographic subcutaneous and visceral fat indices represent the distribution of body fat	Koda M, et al.	第二内科
Oncology Rep 18: 553-559, 2007	Expression of Fhit, Mhn1, p16INK4A and E-cadherin in early gastric neoplasia: correlation with histological grade and gastric phenotype	Hara A, et al.	第二内科
Oncogene 26: 2353-2364, 2007	AKT induces senescence in primary esophageal epithelial cells but is permissive for differentiation as revealed in organotypic culture.	Oyama K, et al.	第二内科
Yonago Acta medica 50: 89-97, 2007	Association of functional gene polymorphisms of interleukin-1 $\beta$ and transforming growth factor- $\beta$ 1 with the progression of liver fibrosis in Japanese patients with hepatitis C virus-related chronic liver disease	Mandai M, et al.	第二内科
J Gastroenterol 42: 897-903	The impact of visceral fat in nonalcoholic fatty liver disease: cross-sectional and longitudinal studies.	Koda M, et al.	第二内科
日本マイクロサーチャー学会誌 2007年12月	「上下顎骨再建例における感染した血管柄付き腓骨のサルベージ手術」	中山 敏	形成外科
日本マイクロサーチャー学会誌 2007年12月	「上頸洞癌治療後の放射線骨壊死に対する外科治療」	胸山 淑子	形成外科
Chemotherapy 53:104-109, 2007	Molecular characterization of 8-methoxyfluoroquinolone resistance in a clinical isolate of methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> .	Toshinobu Horii et al	感染制御部
Journal of Medical Microbiology 56:1705-1706, 2007	Emergence of telithromycin resistance in <i>Haemophilus influenzae</i> in Japan.	Toshinobu Horii et al	感染制御部
Mod Rheumatol, 2007	Minodronic acid influences receptor activator of nuclear factor kappaB ligand expression and suppresses bone resorption by osteoclasts in rats with collagen-induced arthritis.	Tanishima S 他	リハビリテーション部
J Bone Miner Metab,2007	Features of limb fractures: a review of epidemiology from a Japanese perspective	Hagino H	リハビリテーション部
Arthritis Rheum ,2007	Role of subchondral bone in osteoarthritis development: A comparative study of two strains of guinea pigs with and without spontaneously occurring osteoarthritis.	Muraoka T 他	リハビリテーション部
Mod Rheumatol ,2008	Knee deformity in rheumatoid arthritis is closely correlated with generalized osteoporosis	Kikkawa T 他	リハビリテーション部
Mod Rheumatol ,2008	Effect of estrogen replacement therapy on arthritis and bone mineral density in estrogen-replete rats with collagen-induced arthritis	Yoshioka T 他	リハビリテーション部
Yonago Acta Medica , 2007	Effects of Sciatic Neurectomy on Arthritis and Bone Loss in the Collagen-Induced Arthritis Rats	Kuwamoto M 他	リハビリテーション部
Oncology :2007年 12月.	Development of a Novel Assay to Quantify Serum Human Telomerase Reverse Transcriptase Messenger RNA and Its Significance as a Tumor Marker for Hepatocellular Carcinoma	三浦典正	総合薬物治療科
Anticancer Research:2007年 4月.	Circulating cell-free mRNA in plasma as a tumor marker for patients with primary and recurrent gastric cancer.	三浦典正	総合薬物治療科
臨床放射線 52: 656-659, 2007	CO <sub>2</sub> -DSAにてTAEを施行した腎機能低下合併肝細胞癌	杉浦公彦、他	放射線部
日獨医報 52: 53-60, 2007	急性期脳梗塞の診断におけるSWI(susceptibility-weighted imaging)の有用性	金崎佳子、他	放射線科
Radiology 247: 374-380, 2008	Heat distribution in the spinal canal during radiofrequency ablation for vertebral lesions: study in swine	Adachi A, et al.	放射線科
Annals of Surgical Oncology:2007	Prognostic Significance of Level and Number of Lymph Node Metastases in Patients with Gastric Cancer	Saito H.	第一外科
Clinical Cancer Research13(2): 382-387,2007	Decreased NKG2D Expression on CD8+T cell is Involved in Immune Evasion in Patients with Gastric Cancer	Osaki T.	第一外科
Journal of Surgical Oncology95:123-128,2007	Prediction of Sites of Recurrence in Gastric Carcinoma Using Immunohistochemical Parameters	Saito H.	第一外科
日本消化器外科学会雑誌40(3):284-289,2007	胆管内発育し胆道出血を来たした混合型肝癌の1切除例	尾崎知博	第一外科
外科69(2):146-152,2007	胃癌の術中診断と術式選択	辻谷俊一	第一外科
Diseases of the Colon & Rectum50(1):1241-1249,2007	Prognostic significance of Receptor-Binding Cancer Antigen Expressed on Siso Cells(RCAS1) Expression in Relation to Cadherin Expression in Patients with Colorectal Carcinoma	Tsujitani S.	第一外科
Eur.J Immunol37,2007	IL-15-induced human DC efficiently prime melanoma-specific naive CD8+T cells to differentiate into CTL	Saito H.	第一外科
Hepatogastro-enterology54(74):620-624,2007	Recurrence in early gastric cancer-presence of micrometastasis in lymph node of node Negative early gastric cancer patient with recurrence	Saito H.	第一外科
Gastric Cancer10:87-91,2007	Clinical significance of skip metastasis in patients with gastric cancer	Saito H.	第一外科
臨床と研究84(6):101-107,2007	胃切除後症候群とその克服(再建術式の工夫)	池口正英	第一外科
日本臨床細胞学会島根県会誌18(1),2007	胃癌における術中腹腔内洗浄細胞診の現状と問題点	広岡保明	第一外科
手術61(9):1295-1298,2007	胃全摘後再建方法の工夫	建部茂	第一外科
Surgery Frontier14(3):92-95,2007	侵襲をめぐるQ&A Q19.癌の発生、進展におけるカドヘリン-カタニン系の役割について教えてください	辻谷俊一	第一外科
Journal of Surgical Oncology	Prognostic Significance of the Ratio Between Metastasis and Dissected Lymph Nodes(n ratio) in Patients with Advanced Gastric Cancer	Saito H.	第一外科
消化器科45(2):123-127,2007	スキルス胃癌に対するsiRNA併用腹腔内化学療法の開発	齋藤博昭	第一外科
外科69(13):1677-1682,2007	特集:術中出血の防止と止血の要点 4.胃全摘術	辻谷俊一	第一外科
日本臨床細胞学会雑誌46(1):12-16,2007	乳がんのセンチネルリンパ節術中診断における迅速捺印細胞診の有用性	岩本明美	第一外科
Yonago Acta medica50:81-87,2007	Topoisomerase I protein expression and prognosis of patients with colorectal cancer	Ataka M.	第一外科
Dig Dis Sci52:549-554,2007	Prognostic Significance of RCAS1 Expression in Relation to the Infiltration of Dendritic Cells and Lymphocytes in Patients with	Tsujitani S.	第一外科
Gastric Cancer10:45-51,2007	Expression of phosphorylated Akt (pAkt) in gastric carcinoma predicts prognosis and efficacy of chemotherapy	Murakama D.	第一外科
日本消化器外科学会雑誌40(5): 593-598,2007	肺癌十二指腸転移術後長期生存の1例	井上雅史	第一外科
小児外科39(1):51-55,2007	特異な再発・転移をきたした小児胃GISTの2例 -carney triedおよび再発後長期生存例-	清水法男	小児外科
日本小児放射線学会雑誌23(1):50-56,2007	十二指腸癲痕狭窄にGroove Pancreatitis様の画像を伴った小児例の経験	高野周一	小児外科
消化器癌治療の広場 論文紹介(監訳・コメント)2007年12月	転移性結腸・直腸癌のfirst line治療におけるCPT-11+fluoropyrimidineの投与方法(持続静注、bolus静注あるいは経口)に関する無作為化第III相比較実験: BICC-C試験	堅野国幸	第一外科
癌と化学療法35(2): 281-285,2008	皮下埋め込み式中心静脈カテーテル留置症例の使用成績 -HPNと化学療法目的との比較-	谷口健次郎	第一外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Andrologia 39:159–176 2007年10月	In vitro spermatogenesis as a method to bypass pre-meiotic or post-meiotic barriers blocking the spermatogenetic process: genetic and epigenetic implications in assisted reproductive technology	Watanabe T. 他	泌尿器科
Lesions of the salivary glands 2007–4	Tumor – like diseases	Kazuo Ryoke	歯科口腔外科
口腔内科学 2008–3	睡眠時無呼吸症候群	領家和男	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌 2007–4	動脈瘤による慢性播種性血管内凝固症候群	国竹洋輔	歯科口腔外科
米子医学雑誌 2008–2	免疫組織化学的検討を行った頸部リンパ上皮性囊胞の1例	園田真之	歯科口腔外科
Pain 128(5):209–214, 2007	Increased plasma substance P and CGRP levels, and high ACE activity in migraineurs during headache-free periods.	房安恵美	神経内科
Clin Neurophysiol 118(7): 1460–1463, 2007	Short latency afferent inhibition is not impaired in mild cognitive impairment.	佐久間研司	神経内科
Neurosci Lett 420(1): 72–75, 2007	Short-interval intracortical inhibition is modulated by high-frequency peripheral mixed nerve stimulation.	村上丈伸	神経内科
Brain Res 1160: 1–10, 2007	Gene expression analysis of the murine model of amyotrophic lateral sclerosis: Studies of the Leu126delTT mutation in SOD1.	深田育代	神経内科
J Neurol Sci 260: 33–37, 2007	Diagnostic markers for diagnosing dementia with Lewy bodies: CSF and MIBG cardiac scintigraphy study.	和田健二	神経内科
Neuroreport 18(13): 1319–1322, 2007	Homocysteine is toxic for dopaminergic neurons in primary mesencephalic culture.	今村恵子	神経内科
Acta Neurol Scand 16(3): 190–195, 2007	Clinical evaluation of Parkinson's disease dementia: association with aging and visual hallucination.	北山通朗	神経内科
J Neural Transm 114(12): 1579–1583, 2007	Serum proteomic profiling of dementia with Lewy bodies: diagnostic potential of SELDI-TOF MS analysis	和田健二	神経内科
Acta Neurol Scand 116(2): 123–127, 2007	Clinical and genetic epidemiological study of 16q22.1-linked autosomal dominant cerebellar ataxia in western Japan.	林美和	神経内科
Psychogeriatrics 7: 150–154, 2007	Longitudinal changes in the prevalence of dementia in a Japanese rural area	涌谷陽介	神経内科
神経治療学 24: 583–587, 2007	Parkinson病の睡眠障害に対するselegilineの効果	野村哲志	神経内科
General Cardiothorac Surg 55:184–186, 2007	Cavernous hemangioma with hematoma in the chest wall due to penetration from the anterior mediastinum.	Nakamura H	胸部外科
Surg Today 37:787–789,2007	Thoracoscopic resection for middle mediastinum non-invasive thymoma.	Nakamura H	胸部外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg 13:338–340,2007	Primary adenocarcinoma of the trachea resected using PCPS.	Nakamura H	胸部外科
Surg Today 38:227–231,2008	Smoking affects the prognosis after lung cancer surgery	Nakamura H	胸部外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg 14:35–38,2008	Pulmonary arteriovenous fistula with cerebral infarction successfully treated video-assisted thoracic surgery.	Nakamura H	胸部外科
Yonago Acta Medica 51:17–20,2008.	An autopsy case of acute pulmonary embolism after lung cancer surgery	Nakamura H	胸部外科
日本クリニカルバス学会誌 9:189–192,2007.	DPCデータの活用が病院経営を改善する	中村廣繁	胸部外科
日本クリニカルバス学会誌 9:131–134,2007.	改定DPCに対応させた肺癌手術クリニカルバスの運用効果	中村廣繁	胸部外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg 13:403–406,2007.	Bronchoplastic lobectomy with wide wedge resection for lung cancer with long-term steroid medication.	Taniguchi Y	胸部外科
General Cardiothoracic Surgery 56:81–84,2008	Pulmonary lymphangiomyomatosis with concomitant tuberous sclerosis complex diagnosed by video-assisted thoracoscopic surgery.	Taniguchi Y 他	胸部外科
日呼外会誌 21:613–618,2007	術前診断に難渋し、放射線化学療法後に胸壁切除再建を施行した胸壁原発孤立性形質細胞癌の1例	三和 健	胸部外科
Pathology International 58:169–173,2008.	CCD1a expression in PEComas	Adachi Y	胸部外科
Yonago Acta medica 50:47–50,2007.	Thoracoscopic Resection of an Anterior Mediastinal Bronchogenic Cyst	Fujioka S	胸部外科
診断病理 25:15–18,2008.	良悪性の診断に苦慮した巨大葉状腫瘍の1例	藤岡真治	胸部外科
Pediatrics International 49(2) 133–7 2007 Apr	Variation analysis of beta3-adrenergic receptor and melanocortin-4 receptor genes in childhood obesity.	Kinoshita T	小児科
J Med Virol. 79(7) 922–6,2007 Jul	Molecular evidence of father-to-child transmission of hepatitis B virus.	Murakami J	小児科
Biomedical Research 28(5) 267–273,2007 Oct	N-hexacosanol prevents diabetes-induced rat ileal dysfunction without qualitative alteration of muscarinic receptor system	Okada shin-ichi	小児科
J Med Virol. 79(9) 1305–11,2007 Sep	Virological features of hepatitis B virus-associated nephropathy in Japan.	Murakami J	小児科
日本小児血液学会雑誌 21(2) 78–83,2207 04	同種骨髓移植が奏效した(6;9)(p23;q34)を有する急性骨髓性白血病の女児例	上山潤一	小児科
ホルモンと臨床(0045–7167) 55(4) 343–48,2007 04	GH/IGF最近の進歩】IGF-I/IGF-I受容体異常による低身長	神崎 晋	小児科
肝胆脾 52(7) 197–205,2007 08	小児の急性肝不全の特徴	長田郁夫	小児科
小児科診療 70(10) 1615–1619,2007 10	【よく遭遇する内分泌疾患診療のための基本知識】ホルモンによる成長の制御	神崎 晋	小児科
肝胆脾 52(7) 223–228,2007 08	小児の肝胆脾疾患の特異性】肝疾患 NAFLD(解説/特集)	村上 潤	小児科
肝胆脾 52(7) 245–251,2007 08	小児期のウイルス肝炎のキャリーオーバー	長田郁夫	小児科
小児科臨床 60(7) 1541–1545,2007 07	フェニルアラニン水酸化酵素遺伝子の変異が確認されたnon PKU hyperphenylalaninemiaの1例	奥野啓介	小児科
日本小児血液学会雑誌 21(4) 181–184,2007 08	HLA一致同胞より前処置減弱regimenによる骨髄移植を施行した慢性骨髄性白血病の1例	吳 彰	小児科
日本小児科学会雑誌 111(7) 949–958,2007 07	小児B型肝炎の診療指針(解説)	長田郁夫	小児科
成長科学協会研究年報 30号 195–198,2007 08	遺伝性肥満をモデルとした小児期発症メタボリックシンドロームの成因分析 IGF-1受容体とインスリン受容体後の情報伝達系の関与について(原成長ホルモン治療データベース20周年 Global KIGSの歩み) KIGS Japan Data 成長ホルモン分泌不全性低身長症 治療反応性および成人身長への効果(解説/特集)	木下朋絵	小児科
ホルモンと臨床 55(8) 783–786,2007 08	B型肝炎一対象 接種をすすめたほうがよい職業について教えてください。	飯塚俊之	小児科
小児内科 39(10) 1889,2007 10	B型肝炎一接種間隔の乱れ ワクチンの接種スケジュールが乱れてしまった場合の対応について教えてください。	飯塚俊之	小児科
小児内科 39(10) 1891–1892,2007 10	B型肝炎一抗体獲得 3回接種したにもかかわらず抗体が獲得できない場合にはどうしたらよいでしょうか。抗体は、どの方法で調べるのがよいでしょうか。	飯塚俊之	小児科
小児内科 39(10) 1893–1894,2007 10	B型肝炎一効果 ワクチン接種で抗体ができましたが、どのくらい持続するものでしょうか。	飯塚俊之	小児科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
小児内科 39(10) 1895,2007 10	B型肝炎一副反応 ワクチン接種による副反応で注意すべきものは何でしょうか。	飯塚俊之	小児科
小児内科 39(10) 1992-1923,2007 10	C型肝炎に対する予防接種の見通しについて教えてください。	長田郁夫	小児科
小児科 48(11)1682-1687,2007 10	Cushing症候群	木下朋絵	小児科
周産期医学 37(10)1335-1340,2007 10	周産期と黄疸—Up to Date—日齢に基づく黄疸の鑑別診断	長田郁夫	小児科
小児科 18(11)1682-1687,2007 10	【よくわかる小児内分泌代謝疾患の診断と治療】副腎異常 Cushing症候群(解説・特集)	木下朋絵	小児科
小児科診療 70(10) 1615-1619,2007 10	【よく遭遇する内分泌疾患診療のための基本知識】ホルモンによる成長の制御(解説・特集)	神崎晋	小児科
周産期医学 37(増刊号)682-688, 2007 11	母子感染—治療・予防についてー	長田郁夫	小児科
日本小児腎臓病学会雑誌 20(2)196-201,2007 11	追跡腎生検を施行した日本型Dent病の1例	花田卓也	小児科
ホルモンと臨床 55(12)1189-1195,2007 12	【小児内分泌学の進歩2007】健常小児と肥満児における血中多量体adiponectin値の検討	長石純一	小児科
Pharmacology 81(2)137-143,2007	Ability of cyclohexenonic long-chain fatty alcohol to ameliorate diabetes-induced cystopathy in the rat	Okada Sinichi	小児科
診断病理(1345-6431) 25(1)5-8,2008 01	原発性心内膜線維弾性症の2剖検例	神崎晋	小児科
小児科臨床 61(2)251-256,2008 02	新生児・乳児期早期ミルクアレルギー腸炎の4例	堀向健太	小児科
The FASEB Journal 21:586-595, 2007	Estrogen receptor- $\alpha$ mediates an intraovarian negative feedback loop on thecal cell steroidogenesis via modulation of Cyp17a1(cytochrome P450, family 17, subfamily A, polypeptide 1)	F.Taniguchi	産科婦人科
Int. J. Gynecol Cancer 17(1):76-82, 2007	Genetic diagnosis for chemosensitivity with drug-resistance genes in epithelial ovarian cancer	J.Naniwa	産科婦人科
J. Clin. Oncol. 25 (19):2798-2803, 2007	Multicenter Phase II Study of Fertility-Sparing Treatment With Medroxyprogesterone Acetate for Endometrial Carcinoma and Atypical Hyperplasia in Young Women	N.Terakawa	産科婦人科
Int. J. Gynecol Cancer 17(5):1040-1046, 2007	Galectin-3 may contribute to Cisplatin resistance in clear cell carcinoma of the ovary	T.Oishi	産科婦人科
J. Reprod. Immunol. 75(2):82-90, 2007	Involvement of p38 MAP kinase in lipopolysaccharide-induced production of pro- and anti-inflammatory cytokines and prostaglandin E2 in human choriodecidua	T.Shoji	産科婦人科
J.Med.Ultrasonics 34(4):189-192, 2007	Tissue characterization of uterine myometrium using the ultrasound gray-level histogram width	I.Deura	産科婦人科
Cancer Sci 98(12):2002-2008, 2007	Simultaneous inhibition of the mitogen-activated protein kinase kinase and phosphatidylinositol 3'-kinase pathways enhances sensitivity to paclitaxel in ovarian carcinoma	W.Kawaguchi	産科婦人科
Fertil. Steril. 89(2):478-480, 2008	Aberrant expression of keratinocyte growth factor receptor in ovarian surface epithelial cells of endometrioma	F.Taniguchi	産科婦人科
Fertil. Steril. 89(2):311-317, 2008	Peroxisome proliferator-activated receptor- $\gamma$ ligand reduced tumor necrosis factor- $\alpha$ -induced interleukin-8 production and growth in endometriotic	Y.Ohama	産科婦人科
Int J Clin Oncol. 12(4) 256-260,2007 08	Progression-free survival and overall survival of patients with clear cell carcinoma of the ovary treated with paclitaxel-carboplatin or irinotecan-cisplatin: retrospective analysis.	Kigawa J 他	がんセンター
Int. J. Gynecol Cancer 17(5) 1040-1046,2007 09	Galectin-3 may contribute to Cisplatin resistance in clear cell carcinoma of the ovary	Kigawa J 他	がんセンター
Cancer Sci. 98(12) 2002-2008,2007 12	Simultaneous inhibition of the mitogen-activated protein kinase kinase and phosphatidylinositol 3'-kinase pathways enhances sensitivity to paclitaxel in	Kigawa J 他	がんセンター
Eur Radiol. 18(1):18-23,2008 01	Detection of peritoneal dissemination in gynecological malignancy: evaluation by diffusion-weighted MR imaging.	Kigawa J 他	がんセンター
Eur Radiol. 18(2):384-389,2008 02	Diagnostic accuracy of the apparent diffusion coefficient in differentiating benign from malignant uterine endometrial cavity lesions: initial results.	Kigawa J 他	がんセンター
Int J Gynecol Cancer Epub ahead of print,2007 12	Low response rate of second-line chemotherapy for recurrent or refractory clear cell carcinoma of the ovary: a retrospective Japan Clear Cell Carcinoma Study.	Kigawa J 他	がんセンター
Nippon Rinsho 65(8):287-293,2007 10	Myelosuppression due to antineoplastic agents	Shigeoka Y 他	がんセンター
Ther Drug Monit 29(5):666-668,2007 10	Severe toxicities after irinotecan-based chemotherapy in a patient with lung cancer: a homozygote for the SLCO1B1*15 allele.	Shigeoka Y 他	がんセンター
Int J Once 32(3):683-688,2008 03	Dexamethasone interferes with trastuzumab-induced cell growth inhibition through restoration of AKT activity in BT-474 breast cancer	Shigeoka Y 他	がんセンター
Oncology 72(1):45-51,2007 12	Development of a novel assay to quantify serum human telomerase reverse transcriptase messenger RNA and its significance as a tumor marker for hepatocellular carcinoma.	Oyama K 他	がんセンター
Wound Repair and Regeneration Volume 15 Issue 5 Page 646-656, September	Effect of different frequencies of tensile strain on human dermal fibroblast proliferation and survival	西村 謙吾	第二外科
Journal of Cellular Physiology Volume 212, Issue 1, Pages 244 - 251	Effects of Different Types of Fluid Shear Stress on Endothelial Cell Proliferation and Survival	西村 謙吾 他	第二外科
脈管学 第47巻4号 Page457-462(2007.08)	血圧脈波検査と腹部超音波検査を使用した血管検診の意義	佐伯 宗弘	第二外科
Surgery Today(2007)37:977-979	Torn Cusp in a Freestyle Stentless Bioprosthesis 5 Years After Implantation: Report of a Case	西村 元延 他	第二外科
Circulation Journal Vol. 71 (2007) , No. 10 1657-1658	Pitfall of Percutaneous Cardiopulmonary Support for Acute Massive Pulmonary Embolism	西村 謙吾 他	第二外科
中外医学社『Annual Review 循環器 2008』	新しいLVASの評価	西村 元延	第二外科
Yonago Acta medica 2008;51:11-15	Vacuum-Assisted Closure (VAC) for Bilateral Severe Ischemic Foot after Revascularization:A Patient Report	西村 謙吾	第二外科
中毒研究 2007 04	非定型的な症状経過をとった透析期腎不全患者のフグ中毒の1例	八木啓一 他	救急災害医学
日本臨床救急医学会雑誌 2007 10	初診時深昏睡から良好な転機を遂げた成人発症II型シトルリン血症の一例	八木啓一 他	救急災害医学
中毒研究 2007 10	薬物内服による自殺企図104例の検討	八木啓一 他	救急災害医学
Cornea 26: 105-106, 2007.	Dendritic keratitis caused by an acyclovir-resistant herpes simplex virus with frameshift mutation.	Zhang W 他	眼科
J Hum Genet 52: 92-97, 2007.	Allelic homogeneity in Avellino corneal dystrophy due to a founder effect.	Tsujikawa K 他	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 48:2356-2361,2007.	Neuroprotective effect of transcorneal electrical stimulation on the acute phase of optic nerve injury.	Miyake K 他	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 48: 3566-3575, 2007.	Prognosis-determinant candidate genes identified by whole genome scanning in eyes with pterygia.	Kuo C-H 他	眼科
あたらしい眼科 24:647-654, 2007.	多施設共同による細菌性結膜炎における検出菌動向調査	松本治恵 他	眼科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
あたらしい眼科 24:1261-1264, 2007.	肝膿瘍由来 <i>Citrobacter freundii</i> によると考えられる両眼眼内炎の1例.	武田佐智子 他	眼科
日本視能訓練士協会誌 36:95-102, 2007.	鳥取大学における小児の心因性視覚障害の統計的研究.	石田博美 他	眼科
日眼会誌 111:936-945, 2007.	眼科領域におけるトリアムシソロン使用状況全国調査結果.	坂本泰二 他	眼科
日本眼科学会雑誌 111(10):769-809, 2007.	感染性角膜炎診療ガイドライン.	浅利誠志 他	眼科
Allergy Trends :14-17, 2007.	アレルギー性結膜炎とサイトカイン.	宮崎 大	眼科
Hippocampus, 17(4): 271-280, 2007.	Infusion of neuropeptide Y into CA3 region of hippocampus produces antidepressant-like effect via Y1 receptor.	Ishida H 他	精神科
臨床精神医学, 36:897-905, 2007.	統合失調症における思考障害と遂行機能.	尾鷲登志美 他	精神科
J Psychiatr Res. 42(5): 356-364, 2008.	Relationships of DEX/CRH and GHRH test results to the outcome of depression - Preliminary results suggest the GHRH test may predict	Owashi T 他	精神科
Psychiatry Res, 152: 261-265, 2007.	Phonetic mismatch negativity predicts social skills acquisition in schizophrenia.	Kawakubo Y 他	精神科
脳と精神の医学, 18:149-155, 2007.	健常者におけるデキサメタゾン・CRH負荷試験 日本人におけるデキサメタゾン適正用量の検討.	尾鷲登志美 他	精神科
Psychoneuroendocrinology, 33(2): 152-161, 2008.	Longitudinal neuroendocrine changes assessed by dexamethasone/CRH and growth hormone releasing hormone tests in psychotic depression.	Owashi T 他	精神科
Int J Psychophysiol, 68(1): 41-50, 2008.	Gender differences in lateralization of mismatch negativity in dichotic listening tasks.	Ikezawa S 他	精神科
Europace. 2008 Feb;10(2):134-7.	Long-term reliability of AAI mode pacing in patients with sinus node dysfunction and low Wenckebach block rate.	Adachi M 他	循環器内科
Europace. 2008 Jan;10(1):120.	The small diverticulum in the right anterior wall of the left atrium.	Igawa O 他	循環器内科
J Cardiovasc Electrophysiol. 2008 Apr;19(4):442-3.	The anatomy of the left atrial roof vein: a rare variation of the pulmonary vein.	Igawa O 他	循環器内科
J Interv Card Electrophysiol. 2007 Nov;20(1-2):49-55.	Macroreentrant atrial tachycardia with an isolated pathway mimicking focal activation on three-dimensional electroanatomical map.	Yano A 他	循環器内科
Heart Rhythm. 2007 Oct;4(10):1350-3.	Atrial flutter with a large bystander segment without double potentials in the cavotricuspid isthmus.	Adachi M 他	循環器内科
Pacing Clin Electrophysiol. 2007 Oct;30(10):1288-9.	Removal of coronary sinus intima by a guidewire during cardiac resynchronization therapy.	Adachi M 他	循環器内科
J Interv Card Electrophysiol. 2007 Jun;19(1):45-8.	Radiofrequency catheter ablation for atrial tachycardia originating from the left atrial appendage.	Kato M 他	循環器内科
Heart Vessels 22(5): 291-296, 2007	Serum adiponectin levels and lifestyle factors in Japanese men.	Kato M 他	循環器内科
Chest 132(6):1863-70, 2007	Decreased right and left ventricular myocardial performance in obstructive sleep apnea.	Kato M 他	循環器内科
Hypertension Res 30: 659-660, 2007	Impaired autonomic function in patients with obstructive sleep apnea	Kato M 他	循環器内科
耳鼻咽喉頭頸部外科 79(8):607-612,2007	甲状腺良性腫瘍摘出術	北野 博也 他	耳鼻咽喉科
JOHNS 23(6):941-942,2007	LigaSure - 血管シーリングシステム	北野 博也 他	耳鼻咽喉科
頭頸部外科 17(3):243-247,2007	当科における内視鏡下涙囊鼻腔吻合術の治療成績	竹内裕美 他	耳鼻咽喉科
頭頸部外科 17(3):287-292,2007	外耳道癌におけるNavigation systemの有用性	長谷川賢作 他	耳鼻咽喉科
JOHNS 23(12):1827-1830,2007	～鑑別を要する病態～閉口制限	樋上 茂 他	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床 100(10):833-836,2007	舌根部に発生した多型腺腫	藤原 和典 他	耳鼻咽喉科
Audiology Japan 50:107-112,2007	鳥取県における新生児聴覚スクリーニング及び3歳児聴覚検診の有効性の検討	畠 史子 他	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床 100(4):265-269,2007	耳介arteriovenous malformation例	中村陽祐 他	耳鼻咽喉科
Annals Of Otology, Rhinology & Laryngology 116(5):342-348,2007	Analysis of Human Glottal Velocity Using Hot-Wire Anemometry and High-Speed Imaging	Kataoka H 他	耳鼻咽喉科
Laryngoscope 117:695-698,2007	Expressions of Aquaporin-2, Vasopressin Type 2 Receptor, Transient Receptor Potential Channel Vanilloid(TRPV)1, and TRPV4 in the Human Endolymphatic Sac.	Taguchi D 他	耳鼻咽喉科

合計174

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）  
 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 豊島 良太
管理担当者氏名	総務課長 米山 和行、学務・研究課長 湯原 博己、 医療サービス課長 阿部 秀一

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録		総務課 医療情報部 薬剤部 各診療科	外来カルテ、入院カルテは電子カルテにて中央管理 紙媒体によるものはスキャンにて電子保存。 電子化されているものは電子カルテ管理（1患者1カルテ） エックス線写真は電子カルテにて中央管理（一部フィルムにて各診療科保管）
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学務・研究課	
	高度の医療の研修の実績	総務課 医療サービス課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部	
	確規保則の第9条の23及び第11条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全管理部

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録  規則第1条の1各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部	
	院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課	
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター 医療安全管理部	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	MEセンター 医療安全管理部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	豊島 良太（病院長）
閲覧担当者氏名	米山 和行（総務課長），阿部 秀一（医療サービス課長）
閲覧の求めに応じる場所	閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	7 4 . 0 %	算 定 期 間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			1 0 , 3 2 2 人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			9 , 4 4 7 人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			2 , 0 0 2 人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			1 9 , 9 7 0 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

### 規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 所属職員： 専任(1)名 兼任(8)名</li><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療事故防止等対策委員会の運営並びに記録等の作成及び保管に関する事。</li><li>・ 医療事故に関する診療録、看護記録等への記載が正確かつ十分なされていることの確認を行うとともに必要な指導を行うこと。</li><li>・ 患者家族への説明など事故発生時の対応について確認を行うとともに必要な指導を行うこと。</li><li>・ 医療事故の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに必要な指導を行うこと。</li><li>・ 医療安全に係る連絡調整に関する事。</li><li>・ その他医療安全対策の推進に関する事。</li></ul></li></ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1) 安全管理に関する基本的考え方</li><li>2) 安全管理のための組織に関する基本的事項</li><li>3) 医療安全管理のための医療従事者に対する研修に関する基本方針</li><li>4) 医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策に関する基本方針</li><li>5) 医療事故発生時の対応に関する基本方針</li><li>6) 本院における医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>7) 患者からの相談への対応に関する基本方針</li><li>8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ol></li></ul>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療に係る安全管理の体制の確保及び推進を図り、医療事故及び医療行為に基づく医事紛争に対する防止対策等について審議する。</li></ul></li><li>(審議事項)<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療に係る安全管理のための指針の策定・整備に関する事。</li></ul></li></ul>	

- ・医療に係る安全管理のための教育・研修の企画・立案に関すること。
- ・医療に係る安全確保を目的とした改善の方策に関すること。
- ・医療事故及び医事紛争を防止するために必要な啓発及び対策に関すること。
- ・医療事故等発生時の対応、事実確認並びに医療安全の確保及び医療事故の再発防止に関し、病院長から命令を受けたこと。
- ・その他医療に係る安全管理体制の確保及び推進に関すること。

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 24回
--------------------------	-------

- ・研修の主な内容 :
- ・新採用者研修 リスクマネジメント
- ・インスリン療法研修会
- ・D V D研修 みんなで考えよう医療事故防止対策
- ・注射事故防止に必要な知識のポイント
- ・安全対策の基本
- ・医療機器講習会
- ・安全確実な看護実践の基本
- ・組織で取組みリスクマネジメント
- ・中途採用者研修 医療事故防止のための基本
- ・個人情報保護の重要性
- ・安全な医療を提供するための10の要点 等

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況
-------------------------------------------

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 )
- ・ その他の改善の方策の主な内容 :

・問題点の把握状況

G R Mが毎月の報告書を基に事故の種類、報告者職種、患者への影響度及び発生時間帯等を集計し、医療現場で発生する問題点を把握。

また、日々の報告書提出時現場での検証を行い原因・誘因を抽出し対策をこうじる。

・問題点の分析状況

G R Mが上記問題点の集計結果を調査・分析し改善策を作成する。

・分析・改善策（案）作成のための小委員会等の設置

リスクマネジメント専門委員会を設置している。

・改善策の立案部門及び決定部門

上記委員会において作成した改善策を検討し、医療事故防止等対策委員会に報告し更に検討して決定する。

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況		有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容 :           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 院内感染対策に関する基本的考え方</li> <li>2) 感染管理組織に関する基本的事項</li> <li>3) 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針</li> <li>4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6) 患者等に対する「病院感染対策のためのマニュアル」の閲覧に関する基本方針</li> <li>7) 院内感染対策推進のために必要な基本方針</li> </ol> </li> </ul>		
② 院内感染対策のための委員会の開催状況		年 12回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容 :           <p>感染予防の対策等に関する事項を審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染予防の対策に関すること</li> <li>・ 感染予防対策実施の監視及び指導に関すること</li> <li>・ 感染予防に係る情報の収集に関すること</li> <li>・ 感染の発生原因及び感染経路の調査に関すること</li> <li>・ その他感染予防に関すること</li> </ul> </li> </ul>		
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況		年 24回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容 :           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準予防策の実践</li> <li>・ インフルエンザ・ノロウイルス感染症対策</li> <li>・ 成人ウイルス感染症の予防・診断・治療・感染制御</li> <li>・ 新採用者研修 標準予防策・感染経路別予防策</li> <li>・ 委託業務者感染対策研修</li> <li>・ 感染対策コース研修</li> <li>・ 針刺し・切創・粘膜暴露対策</li> <li>・ 中途採用者研修 感染防止対策の基本</li> <li>・ 静脈注射実施時の感染対策 等</li> </ul> </li> </ul>		
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( 有・無 )</li> <li>・ その他の改善の方策の主な内容 :           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症診療カンファレンスによる抗菌薬耐性菌検出患者・血液培養陽性患者・抗MRSA薬長期投与患者などの診断・治療・感染対策の検討</li> <li>・ 病棟ラウンドによる感染対策実施状況確認と現場指導</li> <li>・ サーベイランスによる感染症情報の把握とアウトブレイクへの対応</li> </ul> </li> </ul>		

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容 :           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新採用職員へのオリエンテーション（麻薬向精神薬の管理、医薬品に係るリスクマネジメント）</li> <li>・ 研修医に対するプレローテーション（処方および注射オーダ、注射薬調製）</li> <li>・ インスリン療法研修会</li> <li>・ DVD研修 みんなで考えよう医療事故防止対策</li> <li>・ 注射事故防止に必要な知識のポイント</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 ( 有・無 )</li> <li>・ 業務の主な内容 :           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品の採用・購入に関する事項</li> <li>・ 医薬品の管理に関する事項（麻薬等の管理方法等）</li> <li>・ 患者の持参薬歴情報等の収集方法、処方せんの記載方法</li> <li>・ 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項</li> <li>・ 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項</li> <li>・ 他施設（病院等、薬局等）との連携に関する事項</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )</li> <li>・ その他の改善の方策の主な内容 :           <p>(情報収集の方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療安全管理部および医療安全に係る委員会と連携し、院内で発生するインシデント等の情報収集</li> <li>・ 病院で発生する副作用・感染症情報の把握</li> <li>・ 厚労省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業からの情報提供（口頭、インターネット、書面等）</li> </ul> <p>(情報の周知方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急性、重要性、対象により、以下の方法等により周知を図る</li> <li>・ 新採用者または全職員を対象に開催する研修会</li> <li>・ 書面や医療情報システムの掲示板を利用した情報提供</li> <li>・ 医師等の個人に直接情報提供</li> </ul> </li> </ul>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の主な内容 :</li> </ul> <p>輸液ポンプ・シリンジポンプ, モニタ, 除細動器, アンビュ, 人工呼吸器, 保育器, 透析濾過装置, 血液浄化装置, 人工心肺装置, PCPS, IABP, 高気圧酸素治療装置</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の策定 ( 有・無 )</li> <li>保守点検の主な内容 :</li> </ul> <p>点検の対象機器及び方法を定めセンターでの定期点検, 現場定期点検, 使用前点検, 使用中点検, 使用後点検</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )</li> <li>その他の改善の方策の主な内容 :</li> </ul> <p>(情報収集の方法)</p> <p>医療機器の添付文書, 取扱説明書等の安全使用・保守点検に関する文書を整理し管理する。また, 院内で発生する医療機器に関する不都合情報はすべてMEセンターに報告してもらい, 製造販売会社から適切な対処方法に関して情報提供を求め, 医療安全管理部, リスクマネジメント専門委員会と協議協力して, 院内へ周知する。また, これら不都合情報のうち適正かつ安全な医療遂行に支障を来すような内容については病院長に報告し, 厚生労働省への報告を検討する。</p> <p>(情報の周知方法)</p> <p>医療機器の不都合情報・安全情報等は, 当該医療機器に直接携わる関係者には口頭, 文書で通知し, 院内には「MEセンター瓦版」, 「リスクマネジメント便り」, あるいは医療情報システムを利用して情報提供を行う。</p>	